

## 審判・コミッショナーとの連携・確認事項

沖縄県 U12MC 委員長

この資料は、大会の朝のミーティングにて審判・コミッショナーでの確認をよろしくお願いします。

### 【確認事項】

- ① 赤旗が上がり、コミッショナーのホイッスルでゲームが止まる場面は、ボールがデッド、攻守が変更になった時点である。
- ② 赤旗の処置について (A チームオフェンス、B チームがディフェンス)  
B チームがマンツーマンをしていない場面での赤旗。  
○1回目(警告)→説明・Aチームのスローインで再開。

	状 況	再開方法	再開時の 24 秒計
ボールの コントロール が変わらない	アウトオブバウンズ	A チームの スローイン	継 続
	ディフェンスファウル		2 4 秒
	ディフェンスキックボール		2 4 秒
ボールのコン トロールが変 わる	ディフェンスのスティール ディフェンスリバウンド オフェンスバイオレーション オフェンスファウル	A チームの スローイン	2 4 秒

○2回目(マンツーマンペナルティー)→オフェンスの1ショット。その後、Aチームのスローインで再開。

- ③ 第4クォーターおよびオーバータイムにおいて、ゲームクロックが残り2:00以下で止まった際の警告については、1回目でもマンツーマンペナルティ(スコアシートへの記載 M+フリースロー+スローイン)とする。
- ④ コミッショナーへの執拗な質問や暴言を審判でコントロールしてほしい。(テクニカルファウル対象)
- ⑤ 赤旗が上がり、その後、とまるべき場面でコミッショナーの笛が聞こえず、プレーが流れた際は、ゲームを止めるべき場面までタイマーを戻し、その間に起きたプレーは、キャンセル。
- ⑥ 赤旗の場面でヘルドボールになった際の処置は、ヘルドボールのコールで審判がゲームを止めた時に、コミッショナーのホイッスル→コミッショナー赤旗の処置→アローの向きは変えず、ゲームが止まる前のオフェンス側で再スタートをする。  
場所：TOの反対側からスローイン 24秒計→24秒から  
(理由)ジャンプボールシチュエーションになったのは、イリーガルなディフェンスが引き起こしたと考えるため。